昭和大学病院

クオリティインディケーター（QI）成果報告
〔医療安全管理部門〕

指標名

RRS（Rapid Response System）の積極的活用の推進

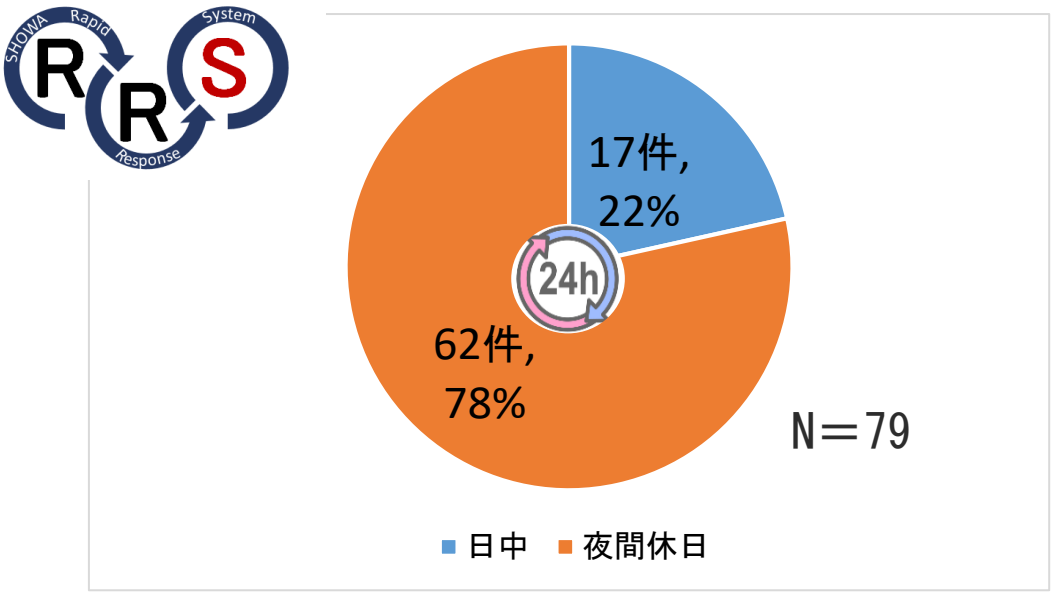
目標・ゴール

夜間・休日の RRS 起動率を 50%以下にする

目標・ゴール達成による効果

医療資源が最も充実している平日・日中のうちに RRS 起動で早期治療と処置を行うことで、夜間休日の患者の重症化と業務負担が低減できる.

目標・ゴールに対する成果の状況



2022 年度の夜間･休日の RRS 起動率は 78%であった。

目標・ゴール達成度

□S　:大幅に目標を上回った
□A^{+}:目標を多少上回って達成
□A　:目標を達成□B^{+}:目標を少し下回った
☑B　:目標を下回った
□C　:目標を大幅に下回った
□ー　:外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

夜間・休日の RRS 起動率を 50%以下に至らなかった。
夜間・休日起動症例 62 件を分析し、そのうち 11 件は日中から RRS 起動基準に該当しており、起動のタイミングが不適切であった。
51 件は夜間・休日に状態変化をきたしている症例であった。
適切なタイミングで RRS を起動した場合、夜間・休日の RRS 起動率は 65%となる。このことから、目標設定の妥当性に欠けていたと考える。
RRS は心停止に至る急変を未然に防ぐためのシステムであり、夜間・休日に関わらず適切なタイミングで起動することが必要である。
そのため、次年度の目標を「RRS 起動基準に該当したら RRS が起動できる」と設定し活動していく。